

# 福島現地研修ツアーのお誘い

仙台保問研

昨年、次々と福島沿岸部の避難解除が行われました。福島駅から沿岸地域の原発被災地域の様子を見ながら、東電の第1発電所まで5キロ手前の請戸地区までバスで巡ってみませんか。当時双葉高校の教師だった、松本佳充さんに一緒にバスに乗って頂きます。浪江町に住んでいたあの原発事故の夜、実際にどんな様子だったのか、その後の長い避難生活の様子。目の前で悩む高校生の思いやそこへ向き合う高校教師としての思いもぜひお聞きしたいと思います。

日程的に大変急ではありますが、なかなか作れない機会でもあり、ぜひ多くの方に参加を呼び掛けたいと思います。

**日程 2月18日(日) 9:00~15:20**

## 集合場所 福島駅

福島駅西口9:00 114号 川俣町経由 浪江町津島経由 浪江町希望の牧場11:00~11:30  
ローソン昼食仕入れ(トイレ) 11:40~11:50

浪江町町内見学(酒井地区(帰還困難区域私の実家)役場(トイレ)浪江駅) 請戸地区(大平山共同墓地  
原発眺望 請戸小学校) 12:40~13:30

浪江町発13:30 114号 浪江町津島経由 山木屋(トイレ) 福島駅西口着15:20

※昨年の9月から福島市浪江町間の国道114号線(浪江町津島の帰還困難区域)が通行出来るようになりました。昼食は浪江町役場隣に「街並みマルシェ」という食堂街がありますが土日は多くの店が休業してしまいます。浪江町に入る国道114号線にローソンがありますのでそこで仕入れて時間短縮のため車中昼食がいいと思います。

松本佳充さんの自己紹介です。

高校教師退職3年目 63歳です。浪江町生まれ(実家は原発から7.5km) 双葉高校(原発から3.5km)卒業 3.11の時は母校双葉高校勤務 地震発生時テニスコート(原発から2.8km)で部活動中 4月から福島南高校の校舎を借りて双葉高校のサテライト校に4ヶ月間勤務。8月から二本松工業高校の校舎で小高工業高校のサテライト校に8ヶ月間勤務 その後川俣高校に勤務 3.12から避難生活が始まる。現在浪江町の一部が避難指示解除になりましたが、自宅は帰還困難区域のため避難指示解除の見通しが立っておりません。現在は郡山市に居住しています。

## 費用と募集定員

バス代は9万円です。参加者の人数で割る予定です。小型バス定員23名が満席になっても4000円は必要です。宜しく御願い致します。

**連絡先** 仙台保問研実行委員会 事務局 乳銀杏保育園 TEL022-256-4267

メールアドレス h-tanno@zmkk.org